

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

| | | | |
|----------|------------------------------|-------|--------------|
| 科目名 | 設計演習Ⅱ | 科目コード | 5370 |
| シラバスコード | 197B67-5370 | | |
| 授業時数/週 | 6 時間 | | |
| 開講年次・学期 | 1年・後期 | | |
| 必修/選択区分 | 必修 | | |
| 担当教員 | 田村 裕一郎・岸 真也・野村 昌史・田中真由美・太田貴子 | | |
| 教員の実務経験 | 実務経験のある教員による授業科目 | | |
| 職業実践専門課程 | 企業等と連携した実習・演習 | 連携企業等 | 一級建築士事務所sign |
| 備考 | | | |

■科目詳細情報

| | |
|-----------|---|
| 授業概要 | 建築物や工作物の設計・デザインを検討する上で重要な行為であるエスキスを基に図面およびCGを作成し、住宅設計をテーマとして演習課題に取り組みながら、建築の設計・デザインの手法について学ぶ。 |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の設計スキルを身に付ける。 ・自らのイメージを表現力豊かな図面およびCGで表現できるようになる。 ・課題内容を正しく理解し、求められているものに対しての提案ができるようになる。 |
| 授業方法 | 敷地調査で得た結果を基にグループ学習を行い、個別ワークでアイデアを完成させる。 |
| 実践的教育の内容 | 連携する設計事務所の主宰者を含めた実施設計経験者である教員陣が、建築設計の基本である住宅をテーマに実務で必要となる基礎知識やデザイン手法について、実務の設計現場に近いスタイルで学生に対して指導を行う。 |
| 評価方法 | 課題点100%(最終成果物60点、発表者選抜会プレゼン20点、作品発表会プレゼン20点)提出期限の厳守を必須とし、設計内容・図面・CG・発表内容を基に総合的に評価する。 |
| 授業外における学修 | 必要な場合は、何度も敷地に足を運び設計に必要な情報を得ること。また、授業時間内だけで完結するものではないので、放課後や自宅でもしっかりと課題に取り組むこと。 |
| 授業計画 | <p>第1週 設計演習(1) 課題説明、担当教員発表、グループワーク(ブレインストーミング)</p> <p>第2週 設計演習(2) ワーク(課題決定、アイデアのアウトプット)</p> <p>第3週 設計演習(3) ワーク(図面作成、教員チェック)</p> <p>第4週 設計演習(4) ワーク(図面作成、CG作成：モデリング・簡易マテリアル、教員チェック)</p> <p>第5週 設計演習(5) ワーク(図面完了、CG作成：モデリング・カメラ位置検討、教員チェック)</p> <p>第6週 設計演習(6) ワーク(CG作成：カメラ決定・ファイル割・細部モデリング、教員チェック)</p> <p>第7週 設計演習(7) ワーク(CG作成：細部モデリング、教員チェック)</p> <p>第8週 設計演習(8) ワーク(CG作成：細部モデリング、教員チェック)</p> <p>第9週 設計演習(9) ワーク(CG作成：細部モデリング、教員チェック)</p> <p>第10週 設計演習(10) ワーク(CG作成：ライトパラメータ・細部マテリアル調整、教員チェック)</p> <p>第11週 設計演習(11) ワーク(CG作成：ライトパラメータ・細部マテリアル調整、教員チェック)</p> <p>第12週 設計演習(12) ワーク(CG作成：ライトパラメータ・細部マテリアル調整、教員チェック)</p> <p>第13週 設計演習(13) ワーク(CG作成：最終確認、プレゼン作業、教員チェック)</p> <p>第14週 設計演習(14) ワーク(CG作成：最終確認、プレゼン作業、教員チェック)</p> <p>第15週 設計演習(15) ワーク(CG作成：最終確認、プレゼン作業、教員チェック、最終提出)</p> <p>第16週 発表者選抜会 作品発表会における最終発表会の選抜を行う</p> <p>第17週 最終発表会(DigitalWorks) 選抜者による講評会を行う(発表者選抜会後に行う講師会で決定の上、当日発表する)</p> |
| 教科書・教材 | 「コンパクト建築設計資料集成」丸善出版：ISBN978-4-6210-7509-8 |
| 参考文献・資料 | 特になし |
| 履修上の留意点 | 対象敷地を事前に提示するので、初回授業までに現地へ足を運び敷地調査を実施すること。 |